

第3回 まちづくりワークショップ《2050年の夢づくり会議》ニュース

◆ 次 第 ◆

(開会)

あいさつ

1. オリエンテーション

- ・ 全体の進め方、スケジュール、ルール 等

2. グループワーク

- ・ 基本計画骨子案の「住民等のできるアクション例」への意見追加
- ・ 各班で明日からできるアクションを一つ選定するにあたっての相談

(閉会)

日時:平成 26 年 11 月 22 日(土)

14:00~16:00

場所:四條畷市役所 東別館201会議室



当日の会場の様子

第3回目のワークショップには、25人の市民方々に出席していただきました。

ワークショップの概要

◆オリエンテーション

- 本日のテーマ「市民力で明日からできるアクションを考えよう!①」の説明と、ワーク内容のデモンストレーションを行いました。

◆グループワーク

- 5つのテーブルにわかれて、「第6次四條畷市総合計画 基本計画 骨子案」の各施策の「住民等のできるアクション例」について、追加の意見を出し合いました。

その後、各班で明日からできるアクションを一つ選定するための相談を行いました。

◆発表

- 各班から本日の内容を発表してもらいました。

次回の進め方

- ①各班にわかれて、前回のワークショップで相談した、『各班で明日からできるアクション』の内容の具体化を進めます。
- ②各班のアクションを参加者みんなの前で発表し、他の班からも意見をもらいます。

ふりかえり票等でいただいた意見を紹介します！

ワークショップのメインテーマとなる、「市民力で明日からできるアクションを考えよう！」(3回シリーズ)の検討に入り、参加者の皆さんから、ワークショップの成果はどう活かされるの？、ワークショップのテーマ(市民等でできるアクションの提案)以外の部分への意見・提言はどうしたいの？等の意見をいただいています。

そこで、今回のワークショップの主旨や求める成果について、改めて説明させていただきます。

(ワークショップへの参加募集時の内容です。)

①何のためにワークショップをするの？

協働のまちづくりの実践

四條畷市は、これまで市民・行政協働によるまちづくりをめざし、市政にかかわる情報の共有を図りながら、市民参画の機会拡充を進めてきました。今回、第6次四條畷市総合計画を策定するにあたり、「協働のまちづくり」の一貫として、市民ワークショップを開催しています。

まちづくりをきっかけとした仲間づくり

まちづくりというと、道路を造ったり、建物を建てたりというイメージが浮かびますが、ここでいうまちづくりとは、福祉、環境、教育など市民生活に関わる取り組みや活動全般を意味します。その中には、一人でできること、家族や地域・グループでできること、みんなでできること、誰にでもできること、専門の人しかできないことなど様々な取り組みや活動があります。

今回のワークショップでは、「みんなでできること」「誰にでもできること」に焦点を当て、その仲間づくりを含め、進めていきます。

②ワークショップに求める成果

四條畷市の将来像

四條畷市がめざすべきまちの姿を思い描き、それに沿った将来像を提案します。

★8月に2050年の夢づくり会議(子ども部会)を開催し、市内の中学2年生にまちの将来像(基本構想)についての検討を行っていただきました。

まちづくりを進めるうえでの各主体の役割

将来像を実現するために1人でできること、みんなで取り組むことなどを考え、市民や行政等の役割を明確化します。

協働のまちづくりへのアイデア

将来像を実現するためにこれからどんなことをしていけば良いかを考え、今後新たにに取り組む事業の参考となるアイデアをまとめます。

③ワークショップのテーマ以外への意見について

総合計画の策定にあたっては、さまざまな形での市民参画の機会を提供するとともに、今後、総合計画(原案)に対する意見公募手続(パブリックコメント)の実施を予定しています。

また、素案の策定過程においても、たくさんの方々との対話の中から意見等を頂戴できればと考えているので、気軽に事務局までお声掛けいただけたらと思います。

◆次回(第4回)の予定

日時:12月19日(金)18:30～

場所:四條畷市役所 東別館201会議室

内容:「市民力で明日からできるアクションを考えよう!②」

発行:2050年の夢づくり会議事務局(四條畷市政策企画部 企画調整課)

〒575-8501 四條畷市中野本町1番1号

電話 072-877-2121 内線:261(平日 8:45～17:15)

0743-71-0330 ※田原方面にお住まいの方

E-mail kikaku@city.shijonawate.lg.jp